

## 特記仕様書

### 1 放射線障害防止措置について

請負者は、「東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」（平成 23 年厚生労働省令第 152 号）に基づき、除染等業務従事者又は特定線量下業務従事者に対し適切に放射線障害防止措置を講じなければならない。

### 2 CSF 感染拡大防止対策について

CSF（豚熱）の感染防止拡大のため、栃木県における CSF 対策を熟知して適切な対策に努めること。

## 植付特記仕様書

### 1. 苗木の仕様

樹 種	区 分	長 さ	根元径	コンテナ 容量	摘 要
スギ	コンテナ苗	40cm 上	4.0mm 上	150cc	

（注）必要な樹種について記載する

定められた配布区域内とするが、産地は指定しない。

### 2. ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

樹種	ha当たりの 植付本数 (本)	苗木の植付間隔（水平距離）		適用林小班等
		列 間 (m)	苗 間 (m)	
スギ	1,900 本	2.3m	2.3m	全林小班

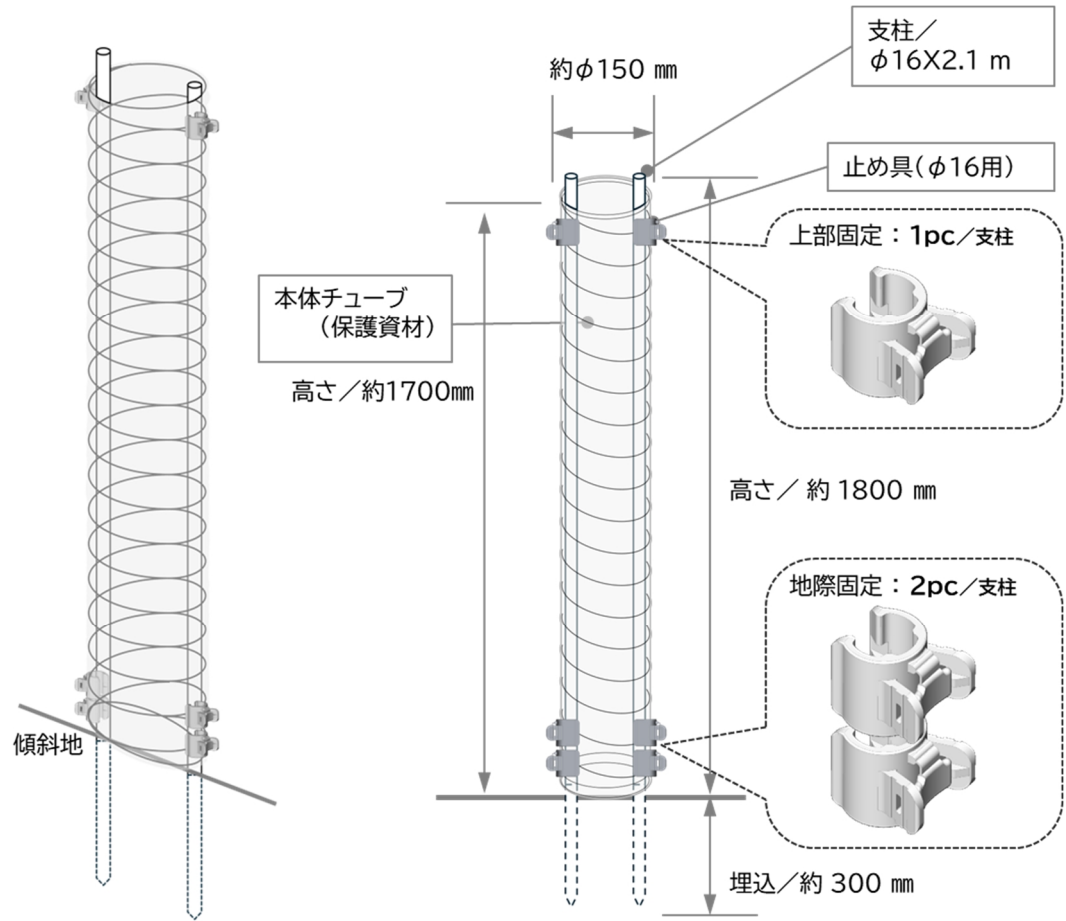
（注）寸法の単位は、m 以下 1 位（10 cm 単位）とする。

### 3. 現地での苗木保管

（１）原則 3～4 日程度となるよう計画的に調達を行い、蒸れ・乾燥に細心の注意を払うこと。また、野生鳥獣による食害を受ける地域は、その対策を講ずること。

特記仕様「単木保護 B」

1 作設標準図



2 材料表(1 セットあたり)

品名	仕様・品質・規格	数量	単位	備考
本 体	<ul style="list-style-type: none"><li>・材質 :<ul style="list-style-type: none"><li>●筒部分 : ポリエチレン樹脂</li><li>●らせん芯材 : ポリエステル樹脂</li></ul></li><li>・規格 :<ul style="list-style-type: none"><li>●口径 : 約 150mm</li><li>●高さ (伸長時) : 約 1,700mm</li><li>芯材のピッチ : 30mm</li></ul></li><li>※ ポリエチレン糸を平織加工したシートを螺旋状に貼り合わせ、筒状に成形したもの。</li><li>※ 設置後、地面との隙間が空かない伸縮機能があるもの。</li></ul>	1	本	
支 柱	<ul style="list-style-type: none"><li>・材質 : 被覆鋼管支柱</li><li>・規格 : φ 16mm × 2,100mm</li></ul>	2	本	
止め具	<ul style="list-style-type: none"><li>・材質 : ガラス繊維入り ポリプロピレン樹脂</li><li>・規格 : φ 16 用</li><li>※開き防止ストッパー付き</li></ul>	6	ヶ	

※上記資材は、「積水樹脂(株) スパイラルグリーン SGK-1. 7タイプ」を参考とし、上記の仕様・品質・規格を満たすものとする。

# 忌 避 剤 散 布 特 記 仕 様 書

## 1 薬剤の性質

(1) 性 状 類白色水和性粘調懸濁液体

(2) 有効成分 ジラム（白色粉末）32% ジンクジメチルジチオカーバメイト

(3) 効 果

ア ノウサギ・カモシカ・ニホンジカに忌避効果が認められる。

イ 薬剤は散布後3時間程度で素早く乾燥、また付着性にも優れ、降雨による流出が無く散布した部分の食害を長期にわたって防止する。

ウ 味覚刺激による食害減退効果がある。

(4) 安全性

ア 毒物分類 普通物（劇物、毒物、特定毒物に該当しないもの）

イ 魚 毒 性 C類

散布された忌避剤が河川湖沼海域及び養魚場に飛散または流入するおそれのある場所では使用せず、これらの場所以外で使用する場合も、一時に広範囲に使用しない。散布に使用した器具及び容器を洗浄した水、使用残りの薬液並びに使用後の空き袋は、河川などに流さず地下水を汚染する恐れのない場所を選び土中に埋没するなど安全な方法で処理する

## 2 忌避剤の散布内訳

対象 林小班 樹種名	適用 害獣名	原液量 (ℓ)	希釈倍率 (倍)	散布面積 (ha)	本数 (本)	1本当たり 散布量 (ml)	総散布量 (ℓ)	備考
341 は1 スギ	ニホンジカ カモシカ ノウサギ	33.00	3	1.65	3,300	30	99.00	散布1回分
5 に2 スギ	ニホンジカ カモシカ ノウサギ	11.00	3	0.55	1,100	30	33.00	散布1回分
5 に3 スギ	ニホンジカ カモシカ ノウサギ	32.00	3	1.58	3,200	30	96.00	散布1回分

## 3 忌避剤の散布部分

植栽木の食害が予想される部分とし、主に、植栽木の梢頭部と主幹に散布を行う。

## 4 その他

仕様書等に定めのない事項については、監督職員の指示による。